

静岡県の慣行レベル

作物名		品種、作型等		農業成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備 考	
				慣行の 回数	5割減の 回数	慣行の 使用量	5割減の 使用量		策定時期等
米	水稻	一般品種平坦地	(稚苗機械移植)	19	9	9.0	4.5	左記の慣行の農業成分使用回数に畦畔 除草剤(慣行3回)は含まれない。	①、⑩、⑬
		一般品種準高冷地(中山間地)	(稚苗機械移植)	21	10	9.5	4.7		⑬
		一般品種高冷地	(稚苗機械移植)						⑬
		コシヒカリ平坦地	(稚苗機械移植)	16	8				①、⑩、⑬
		コシヒカリ準高冷地(中山間地)	(稚苗機械移植)	20	10	7.5	3.7		⑩、⑬
		コシヒカリ高冷地	(稚苗機械移植)						⑧、⑩、⑬
麦類	飼料用米	一般品種		11	5	9.0	4.5		⑪
		稲WCS	一般品種	10	5	9.0	4.5		⑪
		大麦		11	5	12.0	6.0		⑪
		小麦		11	5	16.0	8.0		②、④、⑪
雑穀類	ライ麦	秋まき		6	3	10.0	5.0		⑪
		キビ	露地普通栽培	1	0	7.0	3.5		⑩
		トウモロコシ(子実)	露地普通栽培	8	4	26.0	13.0	ポップコーン用を含む	⑩
		スイートコーン	トンネル栽培、露地普通栽培	8	4	26.0	13.0		②
豆類 (種実)	そば	秋そば・夏そば		1	0	1.5	0.8		⑨
		大豆		9	4	6.0	3.0	黒大豆を除く	②、④
		小豆	大納言・普通小豆	7	3	2.0	1.0		⑨
		ラッカセイ		4	2	3.0	1.5		④
いも類	その他の豆類(種実)	インゲンマメ、ソラマメ等		6	3	6.0	3.0		⑨
		カンショ	早掘り(7～8月収穫)	6	3	4.0	2.0		②
			普通掘り(9月～11月収穫)			6.0	3.0		②、④
		サトイモ	海老芋・露地	9	4	32.0	16.0		②
			石川早生丸他・露地	9	4	30.0	15.0		
			在来種・露地高冷地	8	4	21.0	10.5		⑩
		パレイショ	早掘り(トンネル栽培 4～5月収穫)・砂質土	8	4	20.0	10.0		②
			春作普通栽培(5～8月収穫)・壤土	12	6	18.0	9.0		
		やまのいも	ナガイモ 秋冬どり、11～12月収穫	9	4	38.0	19.0		②
			自然薯	11	5	32.0	16.0		④
野菜類 (葉茎菜類)	その他のいも類	キクイモ、ヤーコン(塊茎)、コンニャクなど		6	3	15.0	7.5		⑨
		ナバナ	秋冬どり、11～3月収穫	4	2	29.0	14.5		②
		さいしん(油菜芯)	施設・露地(周年)	8	4	15.0	7.5		④
		ケール	夏まき(7～8月播種)	11	5	40.0	20.0		
			10～3月収穫						
			秋まき(10月播種)	7	3	32.0	16.0		⑩
		コマツナ	4～5月収穫	10	5	40.0	20.0		
			(1月播種)						
			施設周年	7	3	15.0	7.5		②、⑦
		山東菜	露地栽培	7	3	15.0	7.5		⑬
			周年	7	3	15.0	7.5		⑨
			施設・露地(周年)	12	6	12.0	6.0		④
		チンゲンサイ	春・夏・秋どり(3～11月収穫)	7	3			化学肥料使用量は1作当たり	②
			冬どり(12～2月収穫)	5	2	10.0	5.0		
		てごろ菜	秋どり、10～11月収穫	6	3	15.0	7.5		②
			秋冬どり(11月～3月収穫)	6	3				②、④
			施設4～10月収穫	9	4	12.0	6.0		⑦、⑬
		ルッコラ	施設春～秋収穫	5	2	8.0	4.0		⑦
			秋・冬どり(11～3月収穫)、沖積・洪積			29.0	14.5		
			秋・冬どり(11～3月収穫)、海成砂土	8	4	39.0	19.5		②
		非結球 メキャベツ	年内どり	16	8	23.0	11.5		
			年明どり	13	6	29.0	14.5		②
			春・夏・秋どり(4～11月収穫)	8	4				
		サンチュ	冬どり(12～3月収穫)	7	3	12.0	6.0		③

静岡県の慣行レベル

作物名		品種、作型等	農業成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備 考	
			慣行の 回数	5割減の 回数	慣行の 使用量	5割減の 使用量		策定時期等
野菜類 (葉茎菜類)	エゴマ	露地普通	0	0	7.0	3.5		(4)
	シソ	露地普通	10	5	30.0	15.0		(4)
	バジル	施設普通	10	5	15.0	7.5		(7)
	コリアンダー	施設(周年)	6	3	19.0	9.5	香菜、シャンツアイ	(4)
	セルリー	露地(秋どり、11～12月収穫)	30	15	49.0	24.5		
		ハウス(冬どり、12～3月収穫)	26	13	50.0	25.0		(2)
		ハウス(春どり、3～6月収穫)	22	11	40.0	20.0		
	アスパラガス	ハウス、トンネル、露地	8	4			4月～5月収穫	(9)
		ハウス立茎長期栽培	26	13	36.0	18.0	2月～4月及び6月～10月収穫	(10)
	食用アロエ	周年(1～12月収穫)	0	0	10.0	5.0		(3)
	エンサイ (クウシンサイ)	施設春～秋収穫	10	5	34.0	17.0		(7)
	カリフラワー	秋冬どり(9～3月収穫)	18	9	28.0	14.0		(7)、(13)
	キャベツ	年内どり	15	7	30.0	15.0		
		年明どり						(2)
		春どり	8	4	36.0	18.0		
		夏どり	16	8	36.0	18.0		(12)
		年内どり・年明けどり	15	7				
		レッドキャベツ	8	4	31.0	15.5		(10)
	クレソン	露地普通栽培	2	1	3.0	1.5		(10)
	シュンギク	露地普通栽培	2	1	3.0	1.5		(10)
		水掛け流し	2	1	3.0	1.5		(10)
	シュンギク	秋冬どり(10月～3月収穫)	14	7	20.0	10.0		(2)
		春どり(4～5月収穫)	11	5	15.0	7.5		(10)
	ショウガ (根ショウガ)	露地・施設	12	6	25.0	12.5		(9)、(10)
	葉ショウガ	施設・露地	6	3	36.0	18.0		(9)
	すみれ菜 (スイゼンジナ)	夏秋作(5～11月収穫)						
		冬春作(12～4月収穫)	14	7	25.0	12.5		(3)
	タマネギ	秋まき春どり	18	9	16.0	8.0		(2)、(4)
	ツルムラサキ	露地普通	4	2	21.0	10.5		(4)
	トチュウ		6	3	10.0	5.0		(9)
	ニラ	露地・施設	18	9	45.0	22.5		(9)
	ニンニク	露地・施設	12	6	20.0	10.0		(9)
	葉ニンニク	露地・施設	6	3	45.0	22.5		(9)
	白ネギ	春まき年内どり			16.0	8.0		(2)、(10)
		夏まき年明どり	24	12	20.0	10.0		
		秋まき夏秋どり			18.0	9.0		(2)
	葉ネギ	秋・冬まき(11～3月)	8	4				
		冬・春どり(1～6月)			20.0	10.0		(1)
		春まき(4～6月)	17	8				
		夏どり(7～9月)			16.0	8.0		(1)、(10)
		夏まき(7月)						
	ハクサイ	夏まき(8～9月)	19	9	20.0	10.0		(1)
		秋どり(10～12月)						
		秋まき(10月)						
	フキ	秋どり(10～11月収穫)	17	8	18.0	9.0		(15)
		冬どり(12月～2月収穫)	16	8	18.0	9.0		(2)
	ブロッコリー		16	8	30.0	15.0		(9)
	ブロッコリー	秋冬どり(11～3月収穫)	18	9				(2)
		春どり(4～6月収穫)	10	5	31.0	15.5		(10)
	茎ブロッコリー	秋冬どり(11～1月収穫)	11	5	37.0	18.5		(7)
	ハウレンソウ	秋どり	8	4	15.0	7.5		
		冬・春どり	6	3	20.0	10.0		(1)
	ミョウガ	露地普通	4	2	18.0	9.0		(4)

静岡県の慣行レベル

作物名		品種、作型等	農薬成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備 考	
			慣行の 回数	5割減の 回数	慣行の 使用量	5割減の 使用量		策定時期等
野菜類 (葉茎菜類)	メキャベツ	秋冬どり(11～3月収穫) 沖積・洪積 秋冬どり(11～3月収穫) 海成砂質	10	5	29.0 39.0	14.5 19.5		②
	モロヘイヤ	露地普通 半促成(5～10月収穫) 促成(9～6月収穫)	8 7 10	4 3 5	20.0 35.0	10.0 17.5		④ ②
	ラッキョウ	春どり(4～6月収穫)	14	7	30.0	15.0		⑦
	エシャレット	早だし(11～1月収穫) 冬春だし(2～4月収穫)	16	8	30.0	15.0		③
	レタス	年内どり 年明どり	19 15	9 7	20.0 26.0	10.0 13.0		②
	ワケギ	露地・施設	20	10	25.0	12.5		⑨
	トウガン	露地普通	16	8	25.0	12.5		④
野菜類 (果菜類)	シシトウ	露地普通 半促成(6～11月収穫、海成砂土)	22 28	11 14	35.0	17.5	トウガラシを含む	④ ②
	エダマメ	露地普通、ハウス、トンネル	11	5	10.0	5.0		④、⑩
	サヤインゲン	露地・トンネル栽培	13	6	20.0	10.0		⑨
	サヤエンドウ	キヌサヤエンドウ 露地春どり、3～5月収穫 露地秋どり、9～12月収穫 ハウス春どり、2～4月収穫	12 14 12	6 7 6	25.0	12.5		②
	サヤエンドウ	砂糖エンドウ(ハウス) 加温、12～5月収穫 無加温、3～5月収穫	20 12	10 6	19.0	9.5		②
	未成熟ソラマメ	露地・施設	12	6	15.0	7.5		⑨
	イチゴ	ハウス促成 壤質～粘質土 ハウス促成 砂質土	54	27	23.4 34.0	11.7 17.0	農薬成分使用回数はランナーを切り離した 以降の育苗期間及び本ぼでの栽培期間が 対象	②
	オクラ	露地普通 トンネル早熟	12 14	6 7	28.0 28.0	14.0 14.0		⑦、⑭ ⑮
	カボチャ	露地普通 ハウス・トンネル 壤・粘質土 ハウス・トンネル 砂質土	18 14	9 7	20.0 28.0	10.0 14.0		④ ⑩ ②
	キュウリ	促成(2～5月収穫) 半促成(4～7月収穫) 抑制(9～12月収穫) 露地栽培	40 42 44 30	20 21 22 15	32.0	16.0		② ⑩
	スイカ	トンネル栽培(6～7月収穫) 黒ボク土 トンネル栽培(6～7月収穫) 黄色土 トンネル栽培(6～7月収穫) 砂質土 ハウス栽培(5～6月収穫) 黒ボク土	12	6	7.0 8.0 22.0 5.0	3.5 4.0 11.0 2.5		② ⑩
	ズッキーニ	露地普通	18	9	18.0	9.0		⑦
	トマト	露地普通 ハウス無加温 促成(1～6月収穫) 壤質土	40 34 42	20 17 21	21.0 24.0	10.5 12.0	(注)トマト・ナス交配用の植物生長調整剤 は1花に1回かけるので、1回とカウントす る	④ ②
	トマト	越冬長期(10～6月収穫) 壤質～粘質土 越冬長期(12～6月収穫) 砂質土 越冬長期(12～6月収穫) 壤質～粘質土 抑制(10～2月収穫) 砂質土 抑制(10～2月収穫) 壤質～粘質土	54 30	27 15	50.0 39.8 36.0 21.6 19.2	25.0 19.9 18.0 10.8 9.6	(注)トマト・ナス交配用の植物生長調整剤 は1花に1回かけるので、1回とカウントす る	⑩ ② ⑩ ②、④ ②
	中玉トマト ミニトマト	露地栽培 越冬長期(9～6月収穫) 壤質～粘質土 越冬長期(10～6月収穫) 砂質土 越冬長期(10～6月収穫) 壤質～粘質土	40 46	20 23	18.0 42.0 39.8 36.0	9.0 21.0 19.9 18.0		⑨ ⑩ ②

静岡県の慣行レベル

作物名		品種、作型等	農業成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備 考	
			慣行の 回数	5割減の 回数	慣行の 使用量	5割減の 使用量		策定期等
野菜類 (果菜類)	ナス	露地普通(5～7月収穫)	30	15	26.0	13.0	早熟栽培を含む	④、⑩
		露地長期栽培(7月～10月収穫)	40	20	50.0	25.0		⑩
		促成(11～6月収穫)	58	29	52.0	26.0		②
	ニガウリ	露地普通	14	7	30.0	15.0		④
	ピーマン	露地早熟・露地普通	27	13	27.0	13.5		④
		施設栽培	35	17	35.0	17.5		⑨
	マクワウリ	露地普通	13	6	10.0	5.0		⑦
野菜類 (根菜類)	カブ	春作(4～6月収穫)	16	8			14.0	7.0
		夏作(7～9月収穫)	20	10				
		秋作(10～12月収穫)	18	9				
	ゴボウ	冬作(1～3月収穫)	14	7				
		露地・夏どり(6～8月まき)	8	4	4.0	2.0		②
		露地・春どり(4～5月まき)、秋どり(9月まき)			15.0	7.5		
	ダイコン	トンネル、ハウス・冬春どり(10月～2月まき)	11	5	20.0	10.0		⑩
		冬春どり(2～6月収穫・砂質土)	8	4	30.0	15.0		③
		秋冬どり(10～12月収穫・黒ボク土)			13.0	6.5		
	葉ダイコン	年内収穫 黒ボク土、黄色土	10	5	16.0	8.0		②
		1～3月収穫 黒ボク土、黄色土	14	7	29.0	14.5		
		年内収穫 砂質土	10	5				⑩
	ニンジン	1月～5月収穫 砂質土	14	7	34.0	17.0		
		施設春～秋収穫	7	3	15.0	7.5		⑦
		春どり(4～5月収穫)	4	2	15.0	7.5		②
野菜類 (その他)	タケノコ	冬どり(10月～2月収穫)	7	3	16.0	8.0		②
		施設春～秋収穫	5	2	10.0	5.0		⑦
		露地	7	4	40.0	20.0		⑮
その他の作物	まこもたけ	露地	3	1	23.0	11.0		⑪
	タケノコ	露地普通	1	0	33.0	16.0		⑬
工芸作物	ゴマ(子実)	普通露地栽培	2	1	10.0	5.0		⑩
	ひまわり(子実)	露地(子実用)	3	1	10.0	5.0		⑪
果樹	温州ミカン	茶	12	6	40.0	20.0		①、④、⑮
		極早生温州-肥沃土壌 (栽植本数60本/10a、目標収量4t/10a)	14	7	20.0	10.0	作業道がある場合は、作業道が占める割合について慣行の化学肥料使用量を削減する。	②、④、⑦、⑩
		極早生温州-普通土壌 (栽植本数75本/10a、目標収量4t/10a)			25.0	12.5		
		早生温州-肥沃土壌 (栽植本数60本/10a、目標収量4t/10a)	15	7	20.0	10.0		
		早生温州-普通土壌 (栽植本数75本/10a、目標収量4t/10a)			25.0	12.5		
		普通温州-肥沃土壌 (栽植本数60本/10a、目標収量4t/10a)	17	8	22.0	11.0		
		普通温州-普通土壌 (栽植本数75本/10a、目標収量4t/10a)			30.0	15.0		
果樹	ハウスミカン	早期加温夏芽母枝	14	7	17.0	8.5		②、⑦
		後期加温春芽母枝	10	5	20.0	10.0		

静岡県の慣行レベル

作物名		品種、作型等	農業成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備 考	
			慣行の 回数	5割減の 回数	慣行の 使用量	5割減の 使用量		策定時期等
果樹	中晩柑類	甘夏-肥沃土壌 (栽植本数60本/10a、目標収量5t/10a)	14	7	35.0	17.5	作業道がある場合は、作業道が占める割合について慣行の化学肥料使用量を削減する。	②、④、⑦、⑩
		甘夏-普通土壌						②、④、⑩
		夏みかん(露地)	14	7	35.0	17.5		⑨、⑩
		ネーブルオレンジ	21	10	35.0	17.5		②、④、⑩
		清見 (栽植本数60本/10a、目標収量3t/10a)	19	9	30.0	15.0		②、④、⑦、⑩
		八朔	19	10	30.0	15.0		②、⑩
		レモン	17	8	30.0	15.0		
		ハウスレモン	20	10	35.0	17.5		③、⑩
		日向夏 (栽植本数75本/10a、目標収量3t/10a)	16	8	30.0	15.0		②、④、⑦、⑩
		はるか (栽植本数75本/10a、目標収量3t/10a)	16	8	30.0	15.0		④、⑦、⑩
		伊予柑 (栽植本数75本/10a、目標収量3t/10a)	21	10	35.0	17.5		
		ボンカン (栽植本数75本/10a、目標収量3t/10a)	18	9	30.0	15.0		②、④、⑦、⑩
		はるみ (栽植本数60本/10a、目標収量3t/10a)	18	9	30.0	15.0		
		不知火	17	8	30.0	15.0		②、④、⑩
		ハウス不知火	19	9	30.0	15.0		
		ダイダイ	16	8	35.0	17.5		③、⑩
		文旦(露地)	17	8	30.0	15.0		
		河内晩柑(露地)	17	8	30.0	15.0		⑨、⑩
		グレープフルーツ(露地)	19	9	30.0	15.0		
		スタチ	16	8	28.0	14.0		④、⑩
		黄金柑	16	8	28.0	14.0		
		ユズ(露地)	14	7	28.0	14.0		⑥、⑩
		せとか	18	9	30.0	15.0		
		きんかん(寧波金柑 露地)	10	5	8.0	4.0		⑨、⑩
		はるひ(露地)	16	8	30.0	15.0		
	ブルーベリー	露地	10	5	8.0	4.0		④、⑪
	食用桑	露地	7	3	15.0	7.5		⑨
	ブラックベリー	露地	6	3	15.0	7.5		⑨
	イチジク	柵井ドーフィン・施設	18	9	20.0	10.0		②
			11	5				⑨
おうとう	露地	20	10	15.0	7.5	⑨		
カキ	次郎・四ツ溝(肥沃土壌)	18	9	17.0	8.5	②		
	次郎・四ツ溝(普通土壌)			20.0	10.0			
ウ メ		13	6	15.0	7.5	②		
スモモ		14	7	14.0	7.0	②		
モ モ		20	10	12.0	6.0	②		
キウイフルーツ		14	7	18.0	9.0	②		
クリ		10	5	12.0	6.0	④		
くるみ	露地	6	3	8.0	4.0	⑨		

静岡県の慣行レベル

作物名		品種、作型等	農業成分使用回数		化学肥料使用量 (窒素kg/10a)		備 考	
			慣行の 回数	5割減の 回数	慣行の 使用量	5割減の 使用量		策定時期等
果樹	ナ シ	幸水・豊水	29	14	20.0	10.0		②
		新水・喜水	34	17				
		ハウスナシ	18	9				
	びわ	田中・露地	8	4	25.0	12.5		⑨
	ブドウ	ハウス栽培	20	10	8.0	4.0		②
		屋根掛け栽培	25	12	10.0	5.0		
	リンゴ		28	14	15.0	7.5		⑤
	オリーブ	露地	14	7	16.0	8.0		⑮
花き類・観葉植物	コデマリ	ビニル加温促成	35	17	25.0	12.0		⑪
		ビニル無加温半促成	35	17	25.0	12.0		
		露地	35	17	25.0	12.0		
	トルコギキョウ	加温超促成栽培	41	20	12.0	6.0		⑬
		加温促成栽培	41	20	12.0	6.0		
		無加温半促成栽培	41	20	12.0	6.0		
	バラ	ハウス加温	61	30	46.0	23.0		⑬

※準高冷地(中山間地):標高100～300m
※高冷地:標高300m以上
※合成樹脂フィルム上に薬剤を塗布した防除資材(ラノーテープ)は、使用した回数をカウントする(野菜類で適用)

- ① 平成15年度策定

② 平成16年度追加・見直し

③ 平成17年度追加

④ 平成18年度追加・見直し

⑤ 平成19年度追加

⑥ 平成20年度追加
- ⑦ 平成21年度追加・見直し

⑧ 平成23年度追加

⑨ 平成24年度追加・見直し

⑩ 平成25年度追加・見直し

⑪ 平成27年度追加・見直し

⑫ 平成28年7月追加・見直し
- ⑬ 平成30年度追加

⑭ 令和元年度見直し

⑮ 令和4年4月追加・見直し

⑯ 令和5年3月追加・見直し

⑰ 令和5年5月追加・見直し

⑱ 令和7年5月追加・見直し